

余暇部門 ぽるとわーる

《兼原》 記事3

今年度に入り、仲間とみんなでお出掛けしたいね！！という想いが実現し、4月に手作りお弁当を持参し、荒子川公園へ花見ピクニックに行きました。

桜並木を散歩したり、外でお弁当を食べたりと、普段と違った表情・行動をたくさん見る事ができました。特にお弁当を食べるペースは早く、職員は圧倒されるぐらいで気持ち良かったです。そして私にとって、本当によい経験となり新たな支援にも繋がることもできました！次回も行きたい！と思うばかりです。仲間たちの笑顔を大切に、毎日笑顔で過ごしていきたいとも思います。

住まいの余暇以外では、最近、ダイエット強化！！でロデオマシーンやバランスボールを導入しました。名付けて『ぽるとサイズ！！』です！ぽると独自の使い方を考え、日々試行錯誤しながら、みんなと一生懸命頑張っています。時に、面白い使い方をすることも・・・。

今後も毎日が楽しく、安心・安定した生活が送れるような環境づくりを目指していきと思います。



ふれあいまつり

《高塚》 記事4

暑い夏に、ゆめネットも負けてはおりません！毎年恒例のゆめネットふれあいまつりも 7/16(土)に無事開催に至りました。しかしながら当日の準備段階での曇天模様になにか雨…、雲行きと共にお客様の入りに募る不安を抱えつつ会場設営。障がいのある仲間達もご家族の方々もスタッフも一緒になって、大勢のお客様の入りの願いを込めてシートを会場一杯に敷き、炭火をおこして開場を待ちます。

すると気持ちが伝わったか、雲の隙間から顔を出す太陽…と、見渡せば今か今かと楽しみにしている大勢のお客様。こうしておまつりは大盛況のスタートとなりました！野外映画上映会に大道芸のパフォーマンス等、こうしたゆめネットのおまつりスタイルも、来年は一新し皆様にお届けし楽しんで頂く予定です。それを知ってか知らずか、ご来場されたお客様の数はいつにも増して多かった印象を受けました。

このおまつりで一番伝えたいのは、私たちも障がいあるなしにかかわらず、当たり前のように働き、余暇を楽しみ、人生そのものを楽しんでいる事。そのためにも、皆様とお互い気兼ねなく協力し合い、地域で安心して暮らせる関係性であり続けたい…。それがこのまつりに込めた想いでもあります。

最後になりますが、ご来場頂きました皆様におかれましては、この場をお借りして御礼申し上げます。



我が子紹介

親：中西 さつき 子：紀旭

記事5

ゆめネットさんの依頼で今回このコーナーを任されました。我が子の紹介をということですが、うちの息子は30代でして親である私は60代とゆめネットの中では老け組です。ひねくれた性格のせい、以前のタイトルだった「保護者さんコーナー」の“保護者”という言葉が気に入りません。子供が未成年ならともかく、成人しているのにいつまで保護者でなければいけないのだと常々思っております。実は私、保護者を卒業して自分の老後の心配をしたいのです。それに息子は紹介しなくてもゆめネットでは目立っておりますので、依頼されたテーマから外れるのですが、日頃の想いを話そうと思います。

私は医療関係で働いております。それもあまして、医療費について話したいと思います。ゆめネットの利用者さんは一部の方を除いて医療費の窓口負担はないと思います。無料の方は、障害者、母子家庭者、生活保護者がほとんどで他、公害患者、被爆者があります。うちの場合息子が小学校の低学年の時は、窓口負担があり、通院している病院も多くて大変でした。その後、障害が重くなり医療費が無料になった時はありがたいと思ったものでした。ただってとってもありがたいのです。でもこの頃、感謝なく権利ばかりを求める障碍の方が増えてきているのも事実です。

先日、私の職場にみえた患者さんのことです。その親御さんが「うちの子は障害があるので」とわざわざ受付窓口と言いにみえました。障害の医療証をもってみえますし、車椅子ですし、うちの息子もそうですが見た目ですぐわかります。で、その子というのが40代でして、どうもその親御さんの意図は特別扱いしてということなのです。VIP待遇を求める訳です。こちらとしては、その場におられる患者さんの緊急度で判断しますから、要望に応えられない時もあります。他に待ちたくないために障碍をアピールする方もよくおられます。人の振り見て我が振り直せ ではないですが、やはり最低限のマナーは守らなければいけないと思います。

それとただだと気が付かないかもしれませんが、医療費はずいぶん高いのです。余談ですが、生活保護の場合、月々本人に支給されるお金の総額よりも生活保護者の医療費の総額の方が多いのです。話は戻りますが窓口負担のある方は薬のジェネリックはもちろん注射や検査の金額を聞いて考える人もおられます。薬も今は効能の説明がついてくるので治ったから簡単に捨てるのではなく大事に使いたいものです。ずいぶん高い薬もありますので。仕事柄そのようなことを思います。

最後に作家の曾野綾子さんが岐阜県の自民党職員の野田聖子さんに対して書いたことが印象的でしたので記したいと思います。ご存知の方もおられるかもしれませんが、野田聖子さんには重度の障碍のお子さんがみえます。曾野綾子さんいわく「野田聖子は国会議員なのだから自分の子どもの権利ばかりいうのではなく、世間に向かって莫大な医療費を自分の息子にいただきありがとうとお礼を言うべきだ」と。私同感です。この頃の日本人は権利意識ばかりが強くなり、おかげさまで という言葉に表れている感謝の気持ちを忘れたのではないかと考えた私は思うのです。

知らないことが、恐さや偏見につながります。知って頂くことが、ご縁の最初の一步です。

ゆめネットでは、年4回発行のゆめ通信を年間購読頂ける「ゆめネット通信会員」様を新たに募集します。4月から3月までで(途中入会でも3月末まで)、年会費 1,000 円です。

【お申込み方法】

その1：最終ページのお問い合わせ先までご連絡ください

その2：郵便局に備え付けの払込取扱票に以下の要領でご記入頂き、1,000 円のお支払いをお願いします
口座記号・口座番号：00850-6-68722 加入者名：社会福祉法人ゆめネットコアハウス

ご依頼人：おところ、お名前、ご連絡先をご記入ください

どうぞ、私たちのことを知ってください、そして関心をもってください！！